



1/24～1/30は
「全国学校給食週間」です

に ほん がつ こ う き ゅう し ょく

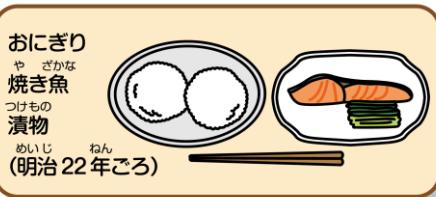
日本の学校給食のあゆみ

がつ こ う き ゅう し ょく は じ

学校給食の始まり



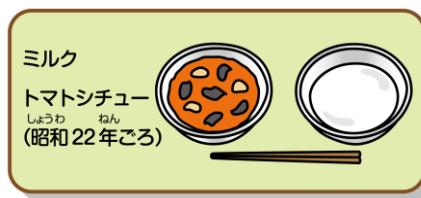
めいじ ねん やまがたけん しりつちゅうあいしうがつこう こ しょくじ ていきょう はじ がっこう だい
明治22(1889)年、山形県の私立 忠愛 小学校で、子どもたちへ 食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大
とくじ てら なか ぼう いえいえ まわ きょう とな かね た もの つか しょくじ ようい
督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお 経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していま
たいしう ねん こ えいようじうたい かいせん ほうほう がっこうきゅうしょく くに しょうれい かくち
た。大正12(1923)年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地
ひろ せんそう しょくりょう ぶそく ちゅうし え
へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。



支援物資による学校給食の再開



せんご こ えいようじうたい あつか しんぱい こえ たか しょうわ ねん がつ か ら ら きゅうえんこうにんだん
戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21(1946)年12月24日にLARA(アジア救援公認団
たい きゅうしょくようぶっし きぞう う よく かつ がっこうきゅうしょく さいかい とうしょ がつ か がっこうきゅうしょくかんしゃ ひ
体)から給食用物資の寄贈を受けて、翌1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」
ご ふゆやす かさ がつ か しゅうかん せんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん
していましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。



バラエティー豊かな献立内容に



しょうわ ねん がっこうきゅうしょくほう せいいつ じっし たいせい ほうてき ととの がっこうきゅうしょく きょういくかつどう
昭和29(1954)年に「学校給食法」が成立したこと、実施体制が法的に整い、学校給食は教育活動とし
い ち づ しゅしき ちゅうしん しょうわ ねん べいはん はん せいしき どうにゅう
て位置付けられるようになりました。主食はパンが中心でしたが、昭和51年に米飯(ご飯)が正式に導入されると、カ
た こ はん とうじょう こんだてないよう じゅうじつ
レーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実してきました。

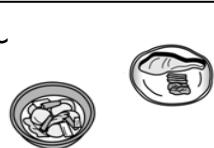


がっこうきゅうしょく ないよう じ だい へんか じ だい か こ う
このように、学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、「子どもたちが食えることなく、
た すこ せいちょう ねが こ げんたい おとな じ ぶんじしん かんが
おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。現代では、大人になっても自分自身で考えて
けんこう しょくせいかつ づづ がっこうきゅうしょく きょうざい やくわり にな
健康な食生活を続けることができるよう、学校給食は「教材」としての役割も担っています。

昔の給食を再現した献立が出ます

29日

めいじ
～明治22年の給食～
・鮭の塩焼き
・すいとん汁



28日

しょうわ ごろ
～昭和40年頃の給食～
・ソフトめん
・ミートソース

